

教育委員会評価

第二次基本計画				H20 事務事業名称	H20 評価結果	
部	章	節	施策の展開方向			
1 人と地域が輝くまちにする	1	1	014 地域に根ざした文化活動を促進するとともに、イベント等を地域と連携して実施する	収蔵資料展開催事業	教育委員会が収蔵している収蔵資料の展示や体験学習の実施により、尼崎の歴史や文化財に対する市民や児童生徒の理解を深めることに寄与している。 今後とも、資料の展示や体験活動を行うことができる専用施設がないものの他施設での事業実施を継続していく必要がある。	
				わくわく体験ミュージアム事業		
	2	4	地域資産の保存と活用	041 地域資産の実態把握に努めるとともに、保存・活用を推進する 042 文化財の指定、登録制度の活用による地域資産の保全を推進する 044 歴史博物館の整備と各種類似施設の連携と活用を図る 045 歴史文化ゾーンの地域資産を生かした魅力づくりを推進する	文化財保護企画業務	埋蔵文化財包蔵地の周知や、各種体験学習の実施、収蔵資料の展示等の取り組みにより、地域資産の保存・活用に寄与することができた。  また、文化財収蔵庫を旧城内中学校に移転させたことにより、歴史的建築物を維持管理するとともに、展示室を設けて市民に収蔵資料を公開する環境整備が図れたので、これを機に利用者の増員に向け、更なる整備を図る必要がある。  田能資料館については、田能遺跡発掘40周年を記念し、市民の文化財を後世に受け継いでいく節目の田能遺跡再発見事業・出土遺物等再整理事業を展開することにより、市民の文化財に対する理解・関心を高めることに役立った。今後はさらに田能資料館の利用者拡大を図るため、祝日開館に向けて取り組んでいく必要がある。
					文化財保存処理事業	
					文化財啓発施設維持管理業務	
					文化財啓発事業	
					埋蔵文化財調整業務	
					埋蔵文化財調査業務	
					歴史資料収集業務	
					歴史資料保存管理業務	
歴史資料調査研究業務						
文化財収蔵庫移転事業						
田能資料館管理運営事業						
3	7	スポーツ・レクリエーション文化の創造	071 スポーツ・レクリエーションの学習機会の創出と人材育成の環境づくりを推進する	スポーツ顕彰事業	日頃のスポーツ活動の成果として、全国大会などに出場する市民等を激励することにより、市民のスポーツに対する関心を深め、本市のスポーツの振興に資するとともに、スポーツの競技力向上に寄与できている。	
				8	スポーツ・レクリエーションを通じた地域づくり	081 多様な活動機会の提供と情報提供に努める 082 身近な活動の場としての学校、公園等の活用を促進する 083 多様なスポーツ指導者の育成と確保に努める 085 地域スポーツクラブのモデル実施と普及への取組を図る 086 全国的規模の大会等誘致と一流競技者との交流機会の提供に努める
地区体育館等管理運営事業						
市民スポーツ大会開催事業						
ヘルストレーニング指導事業						
生涯スポーツレクリエーション事業						
子どもたちの体力づくりモデル事業						
学校開放事業						
スポーツリーダー講習会事業						
さわやかスポーツクラブ推進事業						
「スポーツのまち尼崎」推進事業						

教育委員会評価

第二次基本計画				H20 事務事業名称	H20 評価結果			
部	章	節	施策の展開方向					
4	13	33	健康づくりの推進 336 児童・生徒の心身の健康への対応や健康教育に家庭、学校、保健所、医療機関等が連携して取り組む	児童生徒幼児健康診断事業	各種健康診断・専門医の講演会等により、児童・生徒・幼児の疾病に対する早期発見・早期治療につながった。小児肥満が増加している中、小児肥満対策事業への参加者数が少ないため、今後も学校・医療機関と連携し、参加者数の増に向けて、積極的に取り組む必要がある。			
				学校保健事業				
				日本スポーツ振興センター関係業務				
	14	自立し支え合い地域で暮らす	44	子育ての喜びを実感できる家庭環境づくり(子供が健やかに育つ) 444 子育てを楽しむ意識を醸成するため、子育てに関する知識や情報の提供に取り組む	地域子育て推進事業	子育て学習世代間交流事業では、親の不安感や負担感が軽減する等、参加者の意見も得ることができ、世代を越えた交流の場の提供に寄与した。		
					45	子供が育つ豊かな環境づくり(子供が健やかに育つ) 451 地域で子どもをはぐくむ意識の醸成と主体的な環境づくりの取組を促進する 452 多様な遊び場や活動空間などの充実と交流の機会の創出に努める 446 上記以外	公民館子ども読書活動推進事業	平成19年度から「あまがさき子どもの読書活動推進計画」に基づき実施しているインターネットでの図書貸し出し予約件数が増加しており、また、絵本読み聞かせボランティアの養成も着実に進んで、読書環境の整備が推進されている。今後も学校園との連携・協力体制の強化に取り組む。 また、児童の豊かで健全な心身を養うため、地域における行事の実施や、子どもクラブの取り組みにより、異年齢の児童が交流できる場の提供ができています。
							図書館子ども読書活動推進事業	
							公立幼稚園子育て支援事業	
							地域交流事業	
	児童育成環境整備事業							
	46	子育てと仕事の両立に向けた環境づくり(子どもが健やかに育つ) 461 親が安心して働き続けられる保育・子どもの育成環境づくりに努める	児童ホーム管理運営事業	保護者が安心して就労でき、児童にとって安全で安心して過ごせる生活の場としての児童ホームの運営が実施できている。 課題である待機児童の対策においては、上坂部小学校、浜小学校にてホームの増築を行い、定員拡大を行った。今後も臨時職員の適正配置や事業内容の変更も含め、継続的な対策を検討していく。				
児童ホーム整備事業								
15	生活の安全の確保	49	救急・防災などの緊急時体制の確保 491 救急業務体制の充実と市民等への応急救護知識の普及と向上を図る	自動体外式除細動器(AED)設置事業	平成19年度から20年度にかけて、全市立小中高等学校にAEDを設置することができ、突然死を防ぐことで、学校教育活動のより円滑な推進に資することができた。救急蘇生法の講習を実施することにより、適切な使用方法を身につけるよう努める必要がある。			
				50	安全空間の確保 500 上記以外	学校安全関係事業	校門遠隔施錠システムの設置や安全管理員の配置等を行うことによって、不審者の侵入を防止し、幼児・児童・生徒の安全を確保することができた。	

教育委員会評価

第二次基本計画				H20 事務事業名称	H20 評価結果
部	章	節	施策の展開方向		
5	18	57	生涯学習によるまちづくり 571 多種多様な学習機会を提供する 572 生涯学習の成果を活用した市民活動や地域活動を支援する 573 幅広い学習情報の収集・提供により市民の学習活動を支援する 570 上記以外	視聴覚研修・普及事業	公民館における講座の企画立案にあたり住民参加の講座企画委員会を設置することで、市民自ら、関心が高く、地域的で身近なテーマを検討し、取り組むことができた。  また、公民館で実施した市民大学の一般教養講座や専門講座については、受講者が多く、多種多様な学習機会の提供につながった。今後とも、参加者の受講後のアンケートを活用することにより、多様な学習機会の提供に努めていく必要がある。
				ふれあい学級開催事業	
				地域・現代的課題事業	
				公民館文化教養事業	
				図書館運営事業	
				図書館調査相談業務	
				図書館管理運営事業	
				公民館まつり開催事業	
				生涯学習推進事業(旧生涯学習フェア開催事業)	
				生涯学習施策企画調整業務	
		公民館管理運営事業			
		58	幼稚園教育の推進(個性を生かし生きる力を育む学校教育の推進)	幼稚園教育事業	日々の幼稚園運営について創意工夫を行うとともに、教諭の資質向上等に努めることにより、幼児の豊かな心情、感性や思考力を高めることができた。今後は、少子高齢化等の幼稚園を取り巻く社会環境の変化に合わせた幼稚園教育のあり方について、諸般の状況を勘案しながら検討していく必要がある。
				幼稚園施策企画立案事業	
				幼稚園教育備品・教材費	
				私立幼稚園教育振興助成事業	
				私立幼稚園就園奨励援助事業	
				幼稚園施設維持管理事業	
				幼稚園児合同発表会開催事業	
				私立幼稚園特別支援教育振興助成事業	

教育委員会評価

第二次基本計画			H20 事務事業名称	H20 評価結果	
部	章	節	施策の展開方向		
5	18	59	学びあい、一人ひとりが力を出しあうまちにする 生涯を通じて学びあえるまちをつくる 小・中学校教育の推進(個性を生かし生きる力をはぐくむ学校教育の推進) 592 小・中学校の規模及び配置の適正化を推進する 593 特色ある教育活動の推進と教育環境の充実のための整備を図る 594 基礎的な知識等の習得の徹底と個に応じた多様な教育を推進する 595 心の教育の推進といじめ、不登校等の相談・指導体制の充実を努める 596 体験学習を通じた生きる力をはぐくむ教育を推進する 597 社会変化に対応した新しい教育課題への取組を進める 598 中学校課外クラブ活動の振興に努める 590 上記以外	学校給食事業 食育フェア開催事業 学校適正規模・適正配置推進事業 学校情報通信ネットワーク事業 小学校施設維持管理事業 小学校施設一般整備事業 中学校施設維持管理事業 中学校施設一般整備事業 小学校施設リニューアル整備事業 小学校施設耐震化事業 過大規模・過小規模学校対策検討事業 中学校施設耐震化事業 児童生徒就学援助事業 学校図書館活性化事業 児童生徒文化充実事業 基礎学力向上プロジェクト事業 中学校基礎学力向上プロジェクト事業 自主学習支援事業 教育啓発誌の発行事業 家庭学習支援事業 学校園研究業務委託事業 いきいき学校応援事業 小学校教育備品・教材費 中学校教育備品・教材費 学力・生活実態調査 計算力向上事業 言語力向上事業 特色ある教育活動 指導力向上事業 マイスター認定事業 ぐんぐんのびる個別学習システム活用事業 土曜チャレンジ事業 授業改善アドバイザー事業 不登校児童生徒対策事業 心の教育特別支援員配置事業 心の教育ボランティア配置事業費 ハートフルフレンド派遣事業 社会体験活動事業 子どもと親の相談員等活用調査研究事業 問題を抱える子ども等の自立支援事業 自然学校推進事業 トライやる・ウィーク推進事業 環境体験事業 日本語指導員派遣事業 中学校課外クラブ活動振興事業	良好な教育環境の確保については、学校適正規模・適正配置推進事業において、平成19年度に改訂した第2次学校適正規模・適正配置推進計画に基づき、該当校のPTAや地域に対して適正規模の必要性を説明したが、十分な理解を得られず、事業の推進につながらなかった。引き続き、該当校のPTAや地域に対して説明を行い、協力が得られるように取り組む必要がある。 「尼崎市立学校施設耐震化推進計画」に基づき、事業を実施している中、国庫補助率の嵩上げ措置や地方財政措置の拡充、国の緊急経済対策を利用し、21・22年度に統合対象校を除く全ての耐震診断の実施や、一部工事の前倒しを実施していくことが可能となったが、平成21年度4月1日現在の耐震化率は22.8%と非常に低い結果となっている。児童の安全確保に向けて、着実に耐震化を推進していくことが必要である。 また、小中学校に係る施設整備や備品、教材の整備については、厳しい財政状況ではあるが、低価格品の採用や、仕様の見直し等、コスト削減に取り組み、必要な整備を図っている。 学力向上対策については、基礎学力向上プロジェクト事業や、習熟度別学習指導事業並びに計算力向上事業、また、土曜チャレンジスクール事業などの各種施策を実施しており、児童・生徒及び保護者から、一定の評価が得られている。学力については小学校ではほぼ全国レベルまで達しているものの、中学校では未だ全国レベルよりも低い状況にあるため、学力・生活実態調査を分析し、引き続き効果的な対策を行う必要がある。 自然学校推進事業やトライやるウィーク推進事業の実施により、様々な体験活動を通して、子どもたちが主体的に判断、行動する力を身につけ、また、豊かな人間関係に基づいた、思いやりや自律心を育むなど「生きる力」の育成につながった。 学校給食については、衛生管理を徹底し、安全でおいしい給食を提供することにより、児童の健康増進及び望ましい食習慣を身につけさせることに寄与した。また、食中毒を防止し、より安全・安心な学校給食を提供するため、既存の給食室をドライ方式運用が可能な施設に整備するとともに、給食内容の充実を図るための給食調理備品の導入を、19年度の4校に加え、20年度にも4校で実施できた。しかしながら、耐震化事業の影響により、給食室の整備計画を変更せざるを得なくなったが、残り36校の整備を順次行うとともに、給食内容の充実と業務の経済性・効率性を図るために検証を行ったうえ、調理業務の委託に取り組む必要がある。 また、LD・ADHD等発達障害の幼児児童生徒が在籍し、特に困難を抱える市立幼稚園・小学校・中学校に心の教育特別支援員を配置することにより、学習面、行動面での指導の支援につながっている。今後も心の教育ボランティアにかかる人員の確保に努め、研修会の充実を図る必要がある。

教育委員会評価

第二次基本計画				H20 事務事業名称	H20 評価結果
部	章	節	施策の展開方向		
5	18	60	<p>市立高等学校教育の推進(個性を生かし生きる力をはぐくむ学校教育の推進)</p> <p>602 特色ある学校づくりの推進と教育環境の充実のための整備を図る</p> <p>603 市立高等学校の望ましいあり方に向けた取組を進める</p> <p>606 個性を生かす教育課程の編成と特色ある教育活動を展開する</p> <p>600 上記以外</p>	<p>尼崎高等学校教育事業</p> <p>尼崎東高等学校教育事業</p> <p>尼崎産業高等学校教育事業</p> <p>尼崎工業高等学校教育事業</p> <p>城内高等学校教育事業</p> <p>尼崎高校施設維持管理事業</p> <p>尼崎東高校施設維持管理事業</p> <p>尼崎産業高校施設維持管理事業</p> <p>尼崎工業高校施設維持管理事業</p> <p>城内高校施設維持管理事業</p> <p>尼崎高校体育学科運営事業</p> <p>開かれた高校づくり推進事業</p> <p>修学援助金支給事業</p> <p>高等学校カウンセラー派遣事業</p> <p>市立高等学校教育推進業務</p> <p>高校生進路指導事業</p> <p>尼崎高校教育備品・教材費</p> <p>尼崎東高校教育備品・教材費</p> <p>尼崎産業高校教育備品・教材費</p> <p>城内高校教育備品・教材費</p> <p>尼崎工業高校教育備品・教材費</p> <p>高等学校課外クラブ活動振興事業</p>	<p>生徒の興味・関心等の多様化が進んでおり、一人ひとりの個性や能力を尊重し、伸ばしていく取組みが必要となってきたことから、特色ある高等学校教育の実施、普通科における複数志願選抜・特色選抜の導入、各学校の実態に応じた事業の実施により、生徒の多様なニーズへの対応に努めた。今後も各学校の教育内容及び実態を広くPRし、中学生が入学を希望する高等学校作りに努めていく。</p> <p>尼崎東高等学校及び尼崎産業高等学校の統合においては、建設工事の着手及び、統合プレを実施することができた。しかしながら、1月に建設敷地から基準値を超える汚染物質が検出されたため、建設工事を一時中断し、敷地全体の土壌調査を行った。工事中断及び土壌汚染対策にかかる期間を踏まえて、今後のスケジュールが順調に進むように地域、関連部門と調整していくとともに、引き続きPRに努めていく。</p>
			<p>障害児教育の推進(個性を生かし生きる力をはぐくむ学校教育の推進)</p> <p>611 障害児教育ニーズの多様化に対応した就学指導を推進する</p> <p>612 尼崎養護学校、小・中学校障害児学級等の教育環境の整備に努める</p> <p>610 上記以外</p>	<p>特別支援教育推進事業</p> <p>障害児教育指導調整業務</p> <p>養護学校施設維持管理事業</p> <p>障害児教育研究・指導業務</p> <p>養護学校教育事業</p> <p>小学校障害者対策施設整備事業</p> <p>中学校障害者対策施設整備事業</p> <p>養護学校教育備品・教材費</p> <p>養護学校スクールバス運行管理業務</p>	<p>障害を持つ児童生徒一人ひとりの教育的ニーズが多様化する中で、保護者の期待や子どもの希望に沿うよう各事業を効果的に実施できている。また、教育環境の整備については、厳しい財政状況ではあるが、必要な整備を順次行っている。</p>
			<p>人材の確保と育成(個性を生かし生きる力をはぐくむ学校教育の推進)</p> <p>621 社会の変化に対応した研修体系を整備する</p>	<p>教職員研修事業</p> <p>初任者研修事業</p> <p>教員派遣研修事業</p> <p>調査研究・教育教材開発事業</p> <p>10年経験者研修事業</p>	<p>教育を担う教職員一人ひとりに対して社会の変化に対応する幅広い視野と識見を養成し、実践的な研修を個々の能力・適性に応じて実施することにより、職務に必要な資質の向上につながった。今後も様々な角度から、実践的な研修を個々の能力・適正に応じて実施し、本市教育の振興を図る必要がある。</p>

教育委員会評価

第二次基本計画				H20 事務事業名称	H20 評価結果		
部	章	節	施策の展開方向				
5	学びあ い、一 人ひと りが力 を出し あうま ちにする	18	生涯を 通じて学 びあえる まちをつ くる	63 健全で たくましく 生きる青 少年の 育成	632 青少年団体等の育成と指導者等の人材育成を図る	いきいきあまっ子リーダースクール事業	いきいきあまっ子リーダースクール事業において、参加者が主体的に事業を企画、実施することにより、他の地域の児童との仲間作りや、共通の活動の中から、協調性、自主性、リーダーシップを持つ心豊かな児童の育成に寄与できている。  また、児童生徒の健全育成及び非行化防止においては、各学校の日常的な取組から、比較的落ち着いた環境を保っているが、地域の見守りをさらに強化し、地域関係機関との連携により、安全安心な環境づくりを推し進める。
				633 青少年活動や育成活動の推進に向けた環境整備を図る	丹波少年自然の家運営事業		
	634 市民主体の環境浄化活動等を支援するとともに、青少年非行防止活動を展開する			児童生徒健全育成事業			
	19	一人ひと りを大切 にするま ちをつく る	64	上記以 外	641 -	教育情報収集・提供事業	生涯にわたる生活の基礎を築く上で、必要な基礎学力、道徳性の育成などの心の教育を基本に、自ら学ぶ意欲、態度、たくましさや思いやりの心を備えた幼児・児童・生徒を育成しており、一定の成果があった。今後も家庭、学校、地域がそれぞれの役割を果たすとともに、お互いが密に連携し、子どもが健やかに育つ環境づくりをすすめる。
						教育相談事業	
						学校体育振興事業	
						学校教育研究・指導業務	
						生徒指導研究・指導業務	
						学校人権・同和教育研究・指導業務	
						教科用図書選定業務	
授業料等収納業務							
学級編制業務							
私立大学・私立高校入学支度金貸付事業							
社会教育関係団体指導業務							
社会教育施策企画調整業務							
学校災害見舞金給付事業							
19	一人ひと りを大切 にするま ちをつく る	65	国際理 解の推 進(互い を大切 にする心 を育て る)	651 多様な視点から人権問題をとらえた教育・啓発を推進する	人権・同和教育推進調整業務	同和問題をはじめとする様々な人権課題について、啓発事業を実施するとともに多様な学習機会を提供することにより、人権意識の高揚とともに、自主的、積極的な活動が見られるようになっている。今後も社会教育と学校教育が一体となって、関係機関及び諸団体と協力しながら、より効果的な事業展開を図る必要がある。	
					652 自主的な人権学習活動の促進に向けた学習環境の整備に努める		市民人権啓発冊子発行事業
19	一人ひと りを大切 にするま ちをつく る	67	国際理 解の推 進(互い を大切 にする心 を育て る)	671 在日外国人の生活や文化への理解を深める教育・啓発や交流機会の提供に努める	人権習慣のつどい開催事業	平成19年度に比べると参加者数も増加し、様々な国籍の外国人に対応できる新たなボランティアの参加も得て、充実した内容を実施することができた。	
					巡回人権啓発講座開催事業		
19	一人ひと りを大切 にするま ちをつく る	68	互いを 大切に する心 を育て る (男女共 同参画 社会の 実現)	682 女性の参画機会の充実と自主的学習活動や就労に向けた支援を行う	人権啓発リーダー活動支援事業	尼崎市連合婦人会を中心として、地域で中核となって活動する市内の女性リーダーを育成することにより、地域の人権意識の高揚、地域コミュニティーの活性化を図り、明るい地域社会づくり、男女共同参画社会の構築に寄与できている。	
					人権教育小集団学習事業		
19	一人ひと りを大切 にするま ちをつく る	68	互いを 大切に する心 を育て る (男女共 同参画 社会の 実現)	682 女性の参画機会の充実と自主的学習活動や就労に向けた支援を行う	人権教育活動支援事業	尼崎市連合婦人会を中心として、地域で中核となって活動する市内の女性リーダーを育成することにより、地域の人権意識の高揚、地域コミュニティーの活性化を図り、明るい地域社会づくり、男女共同参画社会の構築に寄与できている。	
					公民館人権平和教育推進事業		
その他		教育委員会評価				20年度は12回の定例の教育委員会議と5回の臨時会を実施し、77議案を審議、その他40件の協議などを行った。また、定例的に各課事業の進捗状況を報告してもらうとともに、教育委員自身のより一層の資質向上のためのテーマを決め、意見交換する場の設定も方向づけて、教育委員会の活性化を図った。	

この教育委員会評価は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条に基づくものである。